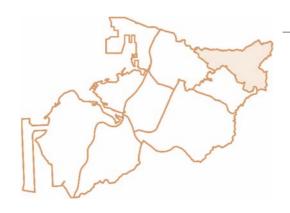
(3) 首里北地域 まちづくり方針



位置と地勢

本地域は、本市の北東部に位置しており、浦添 市、西原町、南風原町に接しています。地域のほ ぼ全域が高台にあり、弁ヶ岳から末吉の森に連な る山並みや市境の緑に包まれた盆地状の地形をな しています。地域北東の丘陵を源流とする安謝川 が住宅地の中を南西に流下しており、自然ゆたか な末吉公園では渓流状の自然河岸の形態も見られ ます。

成り立ち

現在の首里北地域は、1906(明治39)年に、西原村から首里区に編入された石嶺と平良、 1920 (大正9)年に同じく西原村から首里区に編入された末吉、末吉からの分離である大名、 もともと首里区に含まれていた久場川などで形成されています。

戦前は、王都首里の近郊農村としての側面を持っていました。また、1450年頃に創建され た末吉宮を含む現在の末吉公園一帯の斜面に残る緑地は、末吉村の拝所のほかに首里の人々 の墓域として利用されました。

戦後は、復興とともに進む急激な人口増加の受け皿として、久場川市営住宅、石嶺市営住 宅などの大規模な公営住宅が建設されると同時に、民間の宅地開発なども行われ、住宅地が 形成されました。

また、戦後、戦争孤児に対する児童福祉を担う施設として、沖縄厚生園(現在の沖縄県立 石嶺児童園)が石嶺に建設されたことを発端に、周辺に福祉施設が集積することとなり、石 嶺一帯は福祉のまちとしてのイメージも形成されました。

近年は、モノレールの延長にともない、新たに石嶺駅が完成し、周辺における新たなまち づくりの展開も期待されます。

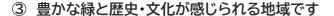
地域の特性

① 市内で一番北側のモノレール駅があります

モノレールの延長にともない、本地域には、 新たに石嶺駅が整備されました。公共交通の利 便性が飛躍的に高まることとあわせて、石嶺線 沿道や石嶺北翔通りなどとの連携による、駅周 辺の拠点づくりなどの新たなまちづくりも期待 されます。また、沖縄県総合福祉センターを中 心に集積する福祉施設などへの更なるアクセス 環境の改善も期待されています。



本地域には、石嶺、石嶺第二、大名、久場川、 汀良、末吉の6つの市営住宅があり、約2,500 戸の住宅が供給されています。そのうち、石嶺、 大名、久場川はこの10年で建替え事業が行わ れ、隣接した敷地では民間活力を活用した施設 が建設されるなど、新たな住環境の形成が期待 されます。一方で、小規模な宅地開発やスプロ ール化による市街化も進んでおり、道路や公園 などの都市基盤の改善・充実が望まれています。



風致地区に指定されている末吉公園は、さま ざまな生物が生息する貴重な自然環境であり、 首里城から続く緑の稜線を形成する緑地でもあ ります。その他にも、石嶺本通りの沿道の斜面 に残る緑地や伊江御殿などに良好な緑が残って います。また、末吉宮、宜野湾御殿の墓などの 多くの指定文化財や御嶽、拝所、樋川などの歴 史・文化遺産が点在しており、これらの遺産に 市民が身近にふれあえる環境づくりが望まれて います。



▲ 石嶺駅舎



▲ 石嶺市営住宅(第5期建替え)



▲ 末吉の緑地帯

ワークショップなどからの市民のみなさんの声

首里北地域



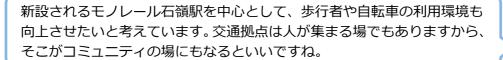
モノレールが延長して石嶺に新しい駅ができるね。石嶺駅を中心に地域 が活性化していくといいな。



モノレール駅からコミュニティバスが出ていたら便利だね。



沖縄県総合福祉センターのまわりに、福祉施設を集めたら高齢者や子育 て世代が集まる地域になるんじゃないかね?







末吉公園は那覇市の中でも重要な緑だと思う。大切に保全しながら多 くの人が利用できる環境整備をしていきたい。園内の安謝川もきれい になるといいな。



末吉公園は眺めがよくて気持ちいい!眺望を活かした活用はないか な?展望台や景色を楽しめるカフェとか。



久場川公園も有効活用したいよね。幹線道路から少し入ったところにあ るからアプローチに工夫が必要かな。



久場川公園は、子どもの遊び場や高齢者の憩いの場としてもっと活用 できたらいいな。使い方では防災機能も担えるんじゃないかしら。

末吉公園での虫取り、川遊び、探検ごっこ、未来の子ども達にも残したい ですよね。公園へのアプローチの工夫も必要ですね。地域のみなさんに親 しまれる公園整備を進めていきます。



地域の将来像

末吉の森などの地域に残る貴重な緑地や水辺を保全し、末吉宮や伊江御殿別邸庭園などの歴 史・文化遺産の保全・活用を図ります。モノレールを中心とした公共交通の利便性の向上や地 域内をネットワークする生活道路の整備、地域の憩いやコミュニティの核となる公園の整備を 進めます。また、駅周辺での地域拠点の形成や歩行者・自転車の利用環境の整備を進めること で、身近な生活環境の向上を図り、豊かなみどりに歴史と暮らしが溶け込んだ良好な住宅地の 形成を進めます。



地域の土地利用の方針

- 緑豊かな良好な低層住宅地の形成
- 福祉施設を拠点とした人にやさしいまちづくり
- モノレール駅を中心とした地域拠点の形成

低層住宅地区

大名町、石嶺町などは、低層の戸建て住宅を主体とし、低層住宅地の住環境に調和した共同 住宅が立地する、緑豊かな住宅地の形成を進めます。また、末吉の旧集落は、敷地内の樹木や 石積み、道路の形態などの昔ながらの良好な集落環境を保全しながら、低層の戸建て住宅を主 体とした緑豊かな低密度の住宅地の形成を図ります。

低中層住宅地

総合福祉センターの周辺では、福祉施設と低中層の住宅が立地する土地利用を進めます。石 嶺駅周辺では、低層の戸建て住宅と調和した低中層の共同住宅や日用品を扱う店舗などが共存 する土地利用を図ります。

住宅団地地区

地区計画制度などを活用し、緑化やオープンスペースの確保などにより、周辺の住宅地と調 和した良好な住宅団地の形成を進めます。

地域型生活サービス地区

石嶺北翔通りの商店街は、周辺環境に調和した商業施設や、低層部分に店舗や飲食店などの 生活利便施設を配した共同住宅などが立地する活気ある商店街としての土地利用を進めます。

地域内幹線沿道地区

石嶺本通り(県道 241 号線)や石嶺福祉センター線(前田石嶺線)などの沿道は、暮らしの 利便性を高める商業機能や業務機能と低中層の共同住宅が共存する複合用途の建物が立地する 土地利用を進めます。

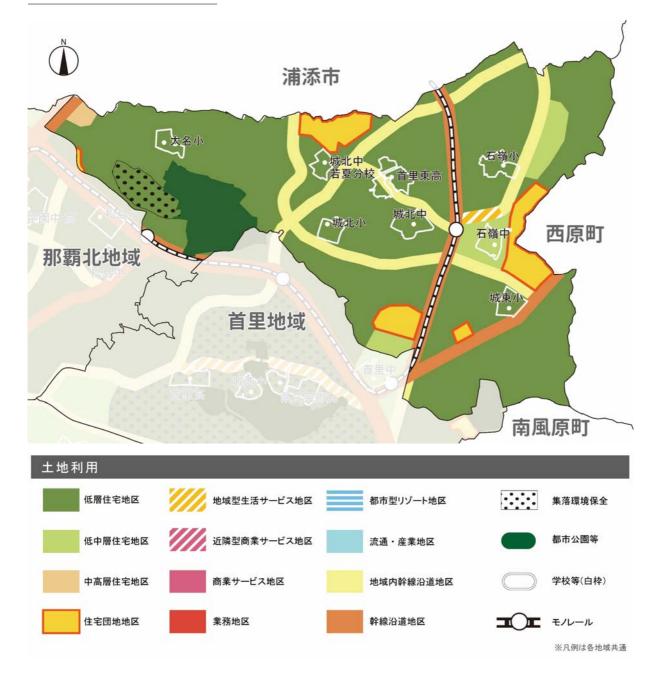
幹線沿道地区

石嶺線(鳥堀石嶺線)や県道 29 号線などの沿道は、低層部の住宅利用が抑制された沿道型 の商業施設や業務施設、中高層の共同住宅などが立地する土地利用を進めます。

■地域拠点としての都市機能の誘導

首里駅周辺では、生活利便性を高める、日常的な買い物、診療所、郵便局など、日常の生活 を支えるサービス機能やコミュニティ活動につながる機能などの集積・充実により、地域の暮 らしを支える拠点を形成し、居住環境の維持・向上を図ります。

地域の土地利用方針図



地域の交通体系の方針

- モノレール駅周辺におけるまちづくりと連動した道路整備
- 地域の東西を結ぶ地域幹線道路の整備
- 住宅地内における安全安心で快適な交通環境の創出
- モノレール駅を中心とした公共交通の利便性向上と歩行者、自転車利用環境の整備
- 福祉施設や周辺地域への公共交通アクセス環境の改善

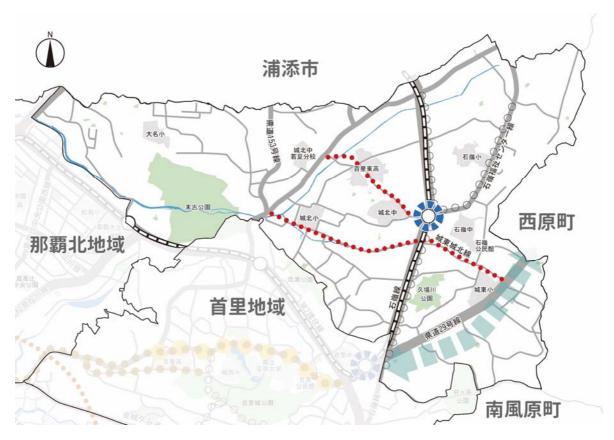
■誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの体系方針

本地域は、路線バスの営業所やモノレール延長により新たに整備された石嶺駅があります。 これらの公共交通機関の乗り換えの快適性、利便性の向上を図ります。

■路線ごとの道路体系方針

	線にこの連路体ポカット お線名および路線位置	体 系 方 針
広域的な幹線道路	・第2環状線(県道82号線) ・県道29号線(那覇・北中城線)	周辺市町村などの連携や那覇市の骨格をなす広域幹線 道路として交通の円滑化を進めるとともに沿道環境の 整備と併せた良好な歩行空間の形成を促進します。
	·石嶺線(鳥堀石嶺線)	モノレールをはじめとする公共交通の基盤施設であり、周辺市町村を結ぶ重要な幹線道路であるため、周辺環境に配慮した道路整備を図ります。
地域の幹線道路	・石嶺本通り(県道 241 号線)・県道 153 号線	本地域と隣接市町村を結ぶ主要な道路であり交通の円 滑化を進めるとともに沿道環境の整備に併せて良好な 歩行空間の形成を促進します。
	・石嶺福祉センター線(前田石嶺線)	浦添市と石嶺を結ぶ主要な道路で、沿道の福祉施設な どに配慮し、ゆとりある歩行空間の形成を図ります。
	・城東城北線(城東小学校北側線)・県道 241 号線へ至る道路(城東城北線の延伸)	地域を東西方向に連結することにより、交通量の分散 を図る主要な道路であり、石嶺駅へのアクセス道路と して、また住宅地を結ぶ道路として、石嶺川や伊江御 殿などの史跡を活かしながら整備を図ります。
主要な生活サービス道路	・平良大名線・末吉内間線・大名沢岻線	大名、末吉地域の生活基盤となる主要な生活道路となっており、安全安心で快適な歩行空間を確保した道路 整備を図ります。
	・石嶺前田線 ・平良石嶺北線	石嶺地区北側の主要な道路であり、また福祉施設など へのアクセス道路ともなっているため、通過交通を抑 制し、ゆとりある歩行空間の確保など安全安心で快適 な整備を図ります。
	・石嶺団地線(石嶺 62 号) ・県道 29 号線と弁ヶ岳を結ぶ道路 ・鳥堀中央線 ・石嶺 2 丁目住宅地内道路 など	石嶺中学校、城東小学校、石嶺市営住宅、久場川公園 を結ぶ道路および公共施設や遊び場へのアクセス路と なっているため、通過交通を抑制し、安全安心で快適 な歩行空間を確保した整備を図ります。
	 ・石嶺 34 号 ・赤平久場川線 ・石嶺 15、26 号、農道石嶺 8 号線 ・石嶺 17 号 ・久場川南線 ・久場川 6 号 など 	首里東高校、城北中学校、城北小学校、久場川市営住宅、虎瀬公園などを結ぶ道路および公共施設や遊び場へのアクセス路となっているため、通過交通を抑制し、安全安心で快適な歩行空間を確保した整備を図ります。

地域の交通体系方針図





安全安心な地域形成の方針

- 末吉に残る良好な集落形態の保全
- ミニ開発などのネットワーク化による基盤の改善

集落形態保全地区

末吉の旧集落は、昔ながらの道路形態や井戸、石積みなどの要素を活かし、特色ある集落形 態の保全・再牛を図ります。

基盤整備済地区

地区計画制度を活用している石嶺北翔・福祉地区、石嶺福祉センター線沿道地区、首里石嶺 農住地区、石嶺市営住宅地区、大名市営住宅地区では、地区計画の目標や整備方針にあわせた 適正な市街地の形成を進めます。

大名第2団地、石嶺ハイツ、石嶺1丁目・2丁目などの民間宅地開発地区は、地区計画や建 築協定、緑化協定などにより、緑化の推進や街並み景観の形成などの良好な居住環境の維持・ 向上を図ります。

公務員住宅などは、地区計画制度などを活用し、緑化やオープンスペースの創出を図り、周 辺の住宅地と調和した住環境の整備により、良好な居住環境の誘導を図ります。

基盤改善地区(機能向上型)

狭隘道路の解消やネットワークを構成する主要な生活サービス道路の改良などにより基盤の 改善を図ります。

防災まちづくり

集中豪雨による浸水リスクのある安謝川の周辺では、主要河川の治水機能の向上のほか、道 路や敷地内の浸透機能の強化、緑化などを進め、総合的な治水対策を図ります。また、土砂災 害リスクのある首里末吉町や首里石嶺町などでは、災害リスクおよび被害軽減に向けた意識啓 発を進めます。

避難場所・避難所・樋川・井泉

避難場所である末吉公園や小中学校などの避難所は、多様な使われ方が可能なオープンスペ 一スの確保、耐震化やバリアフリー化を図ります。また、地域の湧水は、災害時に上水道が使 えなくなった場合の飲料以外の生活に必要な水を確保するため、状況把握や保全などの取り組 みを進めます。

安全安心の地域形成方針図





※ 避難場所・避難所について…浸水リスクのあるエリアでは、津波・高潮・洪水時を除く。土砂災害リスクのあるエリアでは、土砂災害時を除く。

暮らしと交流の方針

- 末吉公園を核とした緑の稜線の保全
- 地域の核となる公園の整備と既存公園へのアプローチ路の改善
- 安謝川・石嶺川などの浄化、親水化、治水対策
- 地域に残る歴史・文化遺産を活用した散策路の整備
- 水と緑が映える眺望景観の形成

公園·広場·緑·水辺

久場川公園などは、アプローチ路の改善を図り、地形や地域特性を活かしたうるおいの場の 創出を進めます。安謝川源流がある末吉公園は、訪れる人が水辺を身近に感じることのできる 親水性のある空間の創出を図り、大規模な森林空間が残る貴重な都市のオアシスとして、より 一層親しまれる公園を目指します。また、身近な公園が少ない地域では、空地などを活用した 小公園や広場、ポケットパークなどによる憩いの空間の創出を図ります。

末吉の森や伊江御殿別邸庭園などの地域に残る良好な緑地は、市街地の貴重な自然環境・景 観資源として保全を図ります。

安謝川や石嶺川などの小河川は、水質浄化とあわせた自然化・親水化や緑化を進め、生物や 人にやさしい地域のうるおい空間の創出を促進します。また、豊かな湧き水によって育まれた 末吉大樋川、東文樋川などの地域に残る水辺空間は、貴重な自然環境として水源を維持するた め、水辺周辺の緑地などの保全を促進します。

幹線道路や主要な生活サービス道路などは積極的に緑化を進め、総合公園である末吉公園を 核とした、水辺と緑をつなぐ市街地の緑の軸として、生物の移動空間のネットワーク化やうる おいのある歩行空間の創出を図ります。

景観·眺望

末吉の旧集落は、拝所や井泉、南入りの住居配置や区画割りなど、昔ながらの集落形態を残 しており、集落景観の保全・再生と緑豊かな魅力ある景観形成を図ります。

石嶺線(鳥堀石嶺線)や石嶺福祉センター線(前田石嶺線)は、街路樹による連続した緑陰 の創出や特色ある整備を図り、屋外広告物や公共サインのデザイン誘導などにより、地域の顔 となる景観形成を図ります。

末吉宮、久場川公園、伊江御殿では、首里城や市街地を望めることから、眺望点の確保や視 対象である首里杜一帯の歴史・文化景観、街並み景観、活動景観(生活風景)の保全・創出を 図ります。

歴史・文化遺産・歴史の散策路

伊江御殿別邸庭園や末吉宮跡などの指定文化財や、末吉宮参詣道、組踊「執心鐘入」の舞 台となった遍照寺跡、末吉大樋川、平良馬場跡などの地域に残る歴史・文化遺産は、まちづく りの要素として保全・活用を進め、歴史の散策路と一体となった歴史・文化とふれあう場の創 出を図ります。また、地域に残る古木や大木は、市街地にうるおいを与えると同時に、地域の 歴史を継承する貴重な資源として積極的に保全を図ります。

交流スポット

都市の中で自然の緑や水辺を感じられる末吉公園は、緑・レクリエーション拠点に加え、観 光・交流の拠点としても大きな可能性を持っています。亜熱帯を感じる植栽や桜などの花木な どを活用した魅力創出や、安心して散策できる空間づくりを図ります。

石嶺北翔通りは、徒歩圏の生活サービス機能を有する交流スポットとして、小規模の小売店 や特色ある専門店が建ち並ぶ生活利便機能やサードプレイスとしての機能の創出を図ります。

既存の公民館・図書館の活用により、まちづくりなどのコミュニティ活動を促進するととも に、小中学校などの公共施設は、コミュニティの拠点として積極的に開放します。また、施設 のリニューアルなどの際には、交流スポットとして利用しやすい機能配置や施設整備を図りま す。

暮らしと交流方針図



